※令和４年度以降入学生用

学校番号	3008

令和５年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	保健	単位数	１単位	年次	２年次
使用教科書	現代高等保健体育（大修館出版）						
副教材等							

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・健康・安全について理解する。
・健康的な生活行動について学ぶ。
・日常生活で直面するであろう健康課題を知り、その解決方法を考える。
・健康や安全についての社会的な取組や個人での対応について知る。
・身近な健康問題に興味をもってもらう。

２　学習の到達目標

・健康的な生活行動とはどのようなことか理解できるようになる。
・身近な健康問題に興味をもち、その解決方法について考えることができるようになる。
・健康や安全に対する社会的な取組みを知り、個人的な対応と関連づけて実践できるようになる。
・心と体を一体としてとらえ、健康・安全について総合的に理解する。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題の解決に役立ち、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくための基礎的な事項を理解している。	健康を保持増進するための課題や個人生活及び社会生活における健康・安全課題についての解決をめざして、知識を活用した学習活動などにより、総合的に考え、判断し、それらを表している。	健康を保持増進するためには、自らの健康を適切に管理すること及び環境を改善していくことが重要であることに関心を持ち、個人生活及び社会生活における健康・安全課題について、意欲的に学習に取り組もうとする。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
一学期	安全な社会生活	事故の現状と発生要因 1. 事故とその被害 2. 事故の発生に関する要因	a:事故には、特性や、当事者の意識や行動、周囲の環境が関連していることについて理解し、記述することができる。 b:事故の現状と要因について学習したことを個人および社会生活に関する事例と比較・分析するなどして、説明することができる。 c:事故の現状とその原因について資料を見たり、読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		安全な社会の形成 1. 自他の安全を確保する行動 2. 安全を確保する社会の取り組み	a:安全な社会づくりのためにどのような対策が取られているか説明することができる。 b: 安全な社会づくりのために、どのような施設・設備があるか説明することができる。 c: 事故を防ぐために、どのような対策があるかまとめたりする学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		交通における安全 1. 交通事故防止のための取り組み 2. 交通事故と運転者の責任	a:事故を防止し、安全な社会づくりをするには自他の生命を尊重し、個人の心身状態や適切な行動や環境の整備が重要であることを理解し、記述することができる。 b:交通社会で必要な資質と責任や交通事故などによる傷害がない安全な社会づくりについて学習したことを個人および社会生活に関する事例と比較・分析するなどして、説明することができる。 c:交通社会で必要な資質と責任や交通事故などによる傷害がない安全な社会づくりについて資料を調べたり、まとめたりする学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		応急手当の意義とその基本 1. 応急手当の意義 2. 応急手当の手順	a:応急手当の意義、重要性について理解し、傷病者を発見したときにどのように対応すべきかポイントをあげて、説明、記述することができる。 b:応急手当が必要な場面に遭遇した際、どのような行動をとるか考え、その内容を発表することができる。 c: 応急手当の必要性や意義について調べ、応急手当が必要な時にどのような行動が必要か考え、発表するなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		日常的な応急手当 1. けがに応じた応急手当 2. 熱中症の応急手当	a: 日常的なけがや熱中症の応急手当の手順や方法を理解し、記述することができる。 b: 日常生活で起こりうる傷害や熱中症などの疾病について学んだことを基に、どのような応急手当が必要か調べ、まとめたり、説明したりすることができる c: 日常生活のどのような場面や状況で傷害等が発生するか調べたり、考えたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		心肺蘇生法 1. 心肺蘇生法の意義と方法	a:胸骨圧迫、人工呼吸、AED による除細動の原理や心肺蘇生法の各手順のポイントを理解し、実践したり、記述することができる。 b: 心肺蘇生法や AED の実践や、他者が実施した手順や方法が正しいかを判断したり指摘し、互いに教え合い活動ができる。 c: 心肺蘇生法の手順や AED の使い方を実践したり、その注意点を考えるなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
	生涯を通じる健康	ライフステージと健康 1. ライフステージと死亡や病気 2. 各ライフステージにおける健康課題とその支援	ａ：各年代で健康的な生活を送るうえでの留意点や社会の取り組みについて調べ、まとめるなどの学習活動に取り組もうとする。 ｂ：健康とは、若いころからの生活習慣に大きく左右されることから、自身の現在の生活をみつめ、比較・分析することができる。 ｄ：各年代の健康を支える取り組みについて理解し、暮らしやすい社会づくりへの取り組みも説明・記述することができる。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		思春期と健康 1. 思春期の体と健康 2. 思春期の心と健康	a. 思春期は不安や悩みを持ちながら成長していく過程であり、問題解決のためにいま自分ができることを考えることが大切である。 b. 思春期の体と心の変化について、理解したこと、自身の考えを基に課題を見つけたり、整理したり、説明することができる。 c. ：思春期は男女とも著しく発達することを再確認したうえで、異性の心身の変化を理解し、正しい行動がとれるようにする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
二学期	現代社会と健康	性意識と性行動の選択 1. 性意識とその尊重 2. 性に関する情報と性行動	a. 男女の違いや個人差があることを理解し、問題行動に発展しないように正しい知識を身につける。 b. 相手の気持ちを尊重し、接することができるように、自分の考えを整理し、説明することができる。 C. 異性への関心が急速に高まる時期であり、異性の心と体をよく理解し、誤った情報をうのみにしないよう学習活動に取り組む。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		妊娠･出産と健康 1. 受精･妊娠･出産 2. 母子健康サービスの活用	a. 妊娠・出産期に留意すべきことを理解し、母子保健サービスの活用についても説明することができる。 b. 近い将来、親となりうる高校生のこの時期に正しい知識を身につける。また、筋道を立てて説明することができる。 c. 精、妊娠、出産のメカニズムを理解したうえで、母体の健康を維持するうえで重要なことを調べるなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		避妊法と人工妊娠中絶 1. 家族計画の意義 2. 人工妊娠中絶	a. 家族計画の意義と適切な避妊法について記述、説明できる。 b. 望まない時には確実に否認をし、お互いの人生設計を大切に健康な過程を築いていけるように考えていく。 c. 家族計画の重要性や意義について理解し、子どもを望むときだけ妊娠するよう、避妊法を調べたりするなど、学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		結婚生活と健康 1. 結婚生活の基盤となる心身の発達 2. 結婚生活と家族の健康	a. お互いが良きパートナーとして健康的な結婚生活を送るためのポイントについて記述、説明することができる。 b. 心身の発達と結婚生活の関係について比較・分析し、課題を見つけたり、説明したりすることができる。 c. 結婚生活を健康的に送るうえでの考え方や行動について資料を探したり、調べたりするなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		中高年期と健康 1. 加齢による変化と健康 2. 高齢者の健康を支える取り組み	a. 中高年期の健康を支える取り組みについて理解し、暮らしやすい社会づくりへの取り組みも説明・記述することができる。 b. 中高年期の健康は、若いころからの生活習慣に大きく左右されることから、自身の現在の生活をみつめ、比較・分析することができる。 c. 中高年期に健康的な生活を送るうえでの留意点や社会の取り組みについて調べ、まとめるなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		働くことと健康 1. 働くことと健康のかかわり 2. 働き方と健康問題の変化	a. 労働による健康被害や労働災害が職場の環境と関連していることについて理解し、記述することができる。 b. 労働に起因する健康被害について班別学習で調べた内容を発表することができる。 c. 多くの生徒が就職していく本校にとって、働くことと健康について学ぶことの意義は大きい。労働によって起こりうる健康被害について積極的に学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		労働災害と健康 1. 労働災害とその要因 2. 労働災害の防止	a. 労働による健康被害や労働災害が職場の環境と関連していることについて理解し、記述することができる。 b. 労働に起因する健康被害について班別学習で調べた内容を発表することができる。 c. 多くの生徒が就職していく本校にとって、働くことと健康について学ぶことの意義は大きい。労働によって起こりうる健康被害について積極的に学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		健康的な職業生活 1. 職場における取り組み 2. 仕事と生活の調和	a. 個人としての健康管理はもとより、職場の健康管理として定期健康診断の受診などの重要さを学習し、今後の社会生活につなげる。 b. 職場がおこなう健康増進対策や健康づくりについて班別に調べ、事例等を発表、説明することができる。 c. 職場がおこなう健康増進対策や個人として余暇の有効利用について考えたり、まとめたりする学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
	健康を支える環境づくり	大気汚染と健康 1. 大気汚染の原因と健康影響 2. 大気にかかわる地球規模の問題	a. 日常生活の中でも個人の取り組みによって改善できることについて理解し、説明や記述することができる。 b. 大気汚染や地球規模の温暖化については、国際協力が不可欠であり、身近な解決策などを意見交換することができる。 c. 私たちを取り巻く環境が健康影響に大きくかかわっていることを理解し、過去の被害や課題の解決に向けての調べ物や、意見交換、話し合いなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		水質汚濁、土壌汚染と健康 １．水質汚濁とその健康影響 ２．土壌汚染とその健康影響 ３．大気汚染、水質汚濁、土壌汚染のかかわり	a. 身近な生活用水でも適切に処理されずに流されると、生態系を崩したり、環境汚染につながることを理解し、説明、記述することができる・ b. 一度汚染されると、莫大な費用や期間を要することを理解し、一人ひとりにできることを考える機会にする。 c. 水質汚濁や土壌汚染による過去の健康被害について学習し、工業廃水、生活排水などでも汚染が広がることを理解するなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
三学期		環境と健康にかかわる対策 1. 環境汚染の防止とその対策 2. 産業廃棄物の処理と健康	a. ごみの処理の現状について考え、環境負荷の少ない循環型社会の実現について理解し説明、記述することができる・ b. 班別学習を通じて、調べたごみ問題を発表したり、整理したりすることができる。 c. ごみの処理の現状について考え、環境負荷の少ない循環型社会の実現について調べたりする学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		ごみの処理と上下水道の整備 1. ごみの処理の現状 2. 安全で良質な水の確保	a. ごみの処理の現状について考え、環境負荷の少ない循環型社会の実現について理解し説明、記述することができる・ b. 班別学習を通じて、調べたごみ問題を発表したり、整理したりすることができる。 c. ごみの処理の現状について考え、環境負荷の少ない循環型社会の実現について調べたりする学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		食品の安全性 1. 食品の安全性と環境 2. 食品の安全性に関する今日的課題	a. 食品と私たちの健康の関係について考え、発表することができる。 b. 班別学習を通じて食品の安全を守る活動について調べ、どのように安全な食品を入手していくことが必要か、自身の生活を振り返って考えることができる。 c. 食品の安全について調べたり、自身の食生活と照らしあわせて考えたりする学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		食品衛生にかかわる活動 1. 食品の安全性の確保 2. 食品の安全と私たちの役割	a. 食品と私たちの健康の関係について考え、発表することができる。 b. 班別学習を通じて食品の安全を守る活動について調べ、どのように安全な食品を入手していくことが必要か、自身の生活を振り返って考えることができる。 c. 食品の安全について調べたり、自身の食生活と照らしあわせて考えたりする学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		保健サービスとその活用 1. 保健行政の役割 2. 保健サービスの活用	a. 様々な保健サービスについて理解を深めるとともに、それぞれについて説明、記述することができる。 b. 様々な保健サービスについて理解を深めるとともに、それぞれについて説明、記述することができる。 c. 保健行政の種類や、保健サービスの活用についての学習活動に取り組もうとする。	期末考査 実習	授業態度観察 実習	授業態度観察 提出ノート 実習
		医療サービスとその活用	a. 我が国の医療の供給は諸外国に比較してもすばらしく充実していることを理解し、その正しい活用ができるよう理解を深める。 b. 医療保険のしくみを理解し、場面に応じて必要な医療機関を受診できるなど的確な判断ができるようにする。 C. 相互扶助の考え方で誰もが必要な医療を受けられるわが国のしくみについて調べるなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		医薬品の制度とその活用	a. 医薬品の正しい使用法について理解し、また安全を守る取り組みについて説明することができる。 b. 医薬品の種類や分類について理解するとともに、過去の薬害など、説明することができる。安全性をめざした様々な取り組みについて説明できる。 c. 医薬品大国日本について調べたり、資料を読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※令和４年度以降入学生用

		さまざまな保健活動や社会的対策 1．健康を支える保健活動と社会的対策 2．保健活動や社会的対策への住民理解	a．派遣活動や対策はヘルスプロモーションに基づく活動であるので、個人だけではなく社会全体の支援が不可欠であることを説明できる。 b．わが国だけでなく、国際社会の中で貧困にあえぐ子どもたちの救済や環境改善につながる活動の重要さを認識する。 c．民間機関や国際機関における保健活動の実態について調べ、関心が持てるように学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート
		健康に関する環境づくりと社会参加 1．健康と環境づくり 2．環境づくりへの社会参加と情報の活用	a．健康を保持増進するためには自然環境だけでなく社会環境をよりよくしていくことについて詳しく説明できる。 b．私たち一人一人が組織に働きかけることにより健康に関する環境を改善することができると認識する。 c．環境づくりと社会参加についての実態を調べ、関心が持てるように学習活動に取り組もうとする。	期末考査	授業態度観察	授業態度観察 提出ノート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度